



北海道 UIターン・プロフェッショナル人材誘致推進事業

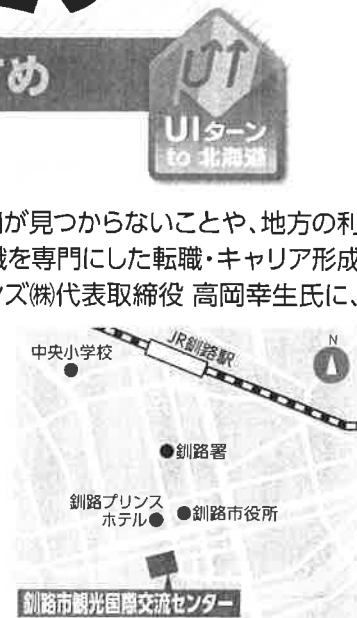
参加費
無料

家族の道内転職を望む ご両親のためのセミナー

北海道への UIターン転職のすすめ

「帰っておいで」と、呼びかけるだけでは帰れません。

東京在住者の4割が地方への移住に関心を持っています(内閣府世論調査)。しかし、働き口が見つからないことや、地方の利便性を不安に感じ、転職に二の足を踏んでいるのが実情です。当セミナーでは、UIターン転職を専門にした転職・キャリア形成の支援を通じて「暮らしたいところで思い切り働く」という価値観を提供しているリージョンズ(株)代表取締役 高岡幸生氏に、UIターンについてお話いただきます。また、北海道に戻ってきたUIターン転職経験者に実体験を語っていただきます。道内で暮らす私たちが道外で働く家族に何をしてあげられるのか。一緒に考え、行動に移していく方法をお伝えいたします。家族の道内転職を望むご両親はもちろん、UIターンを希望するご本人や、採用担当者の皆さまもぜひご参加ください。



日 時 平成27年9月12日(土) 13:30~16:00

会 場 **釧路市観光国際交流センター 2F 視聴覚室**
(釧路市幸町3丁目3)

内 容

第一部 基調講演『我が社のUIターン採用について』
リージョンズ(株) 代表取締役 高岡 幸生 氏



第二部 UIターン経験者とキャリアコンサルタントによる座談会
UIターン転職実践事例、実績データご紹介



UIターン転職で給与は
どれくらい下がるの?
UIターン採用が
多い企業はどこ?
UIターン転職で
気をつけるポイントは?

コーディネーター リージョンズ(株) 一級建築士 辻井 樹 氏
UIターン経験者 2名

■募集人数 先着60名

■応募方法 株式会社アイエヌジー内「道内転職セミナー」係

電 話 011-717-1817 (土・日、祝日、8/12~14を) 除く9:30~17:30 ファクス 011-717-1819

E-mail ui-turn@ing-corp.jp

は が き

郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、個別相談希望の有無をご記入の上、〒060-0806

札幌市北区北6条西6丁目 第1山崎ビル1F 株式会社アイエヌジー内「道内転職セミナー」係までお送りください。

■応募締切 9月10日(木)必着

■主 催 北海道、北海道新聞社

※お申し込みいただいた個人情報は、当事業に関する事由にのみ使用いたします。

同 時 開 催

UIターン転職 個別相談会

セミナー終了後、地域に根差した転職支援に多くの実績を持ち、当事業を北海道から受託しているリージョンズ株式会社のキャリアコンサルタントが、皆さまの疑問・不安にお答えいたします。参加ご希望の方は、セミナー申し込みの際に個別相談会への参加希望の有無をご記入ください。※お時間の都合ですべての方のご相談にお応えできない場合がございます。



家族は大事。

「地元へ帰りたい」が、

いちばんの理由でもいい。

―― 転職のきっかけは?

大学卒業後、東京に就職し、
転職支援サービスを活用して地元北海道にUターン転職した中山さんに、その時の体験談をお聞きしました。

―― 転職してよかつたことは?

いちどは道内にUターン転職したはずが、半年後にはまた関東配属となりました。仕事では店舗開発に携わり、店舗が増えて会社が拡大していくのを味わうのは面白かったです。ですが、そんなとき、父にガンが見つかりました。知らせを受けた私は、妻と話し合い、急いで帰ることに決めました。万一件のがあれば、母が一人きりになってしまいます。いま判断しなければならない時だと思いました。

―― 転職活動はどうに進めましたか?

まず大手人材紹介会社に登録しましたが、「北海道の求人はあまりありません」と言われ、困っていました。そんなときに妻から道内の人材紹介会社のことを聞き、キャ

リアコンサルタントと面談をしました。職種も考えておらず、「とにかく帰りたい」という思いだけ。年齢的な不安もありましたが、話しているうちに「自分は人助けがしたい」ということに気付きました。私の想いを実現できそうな環境があるということで、今の仕事を紹介してもらいました。

―― 転職を考えている人に

いちばんは親が困ったときすぐに実家へ行けることです。家族との時間も増えましたし、子どもを連れて実家に帰ると親も喜んでくれます。仕事も伸びていく分野ですし、自分の力で店舗展開を広げていけるという楽しみとやりがいを感じています。

―― アドバイスをお願いします。

東京にいると「地元に帰りたい」「逃げる」という空気を感じます。しかし、私にとって大切なのは家族と過ごす時間でした。同じ価値観の人も多くいるのではないかでしょうか。妻からの「まだ戻れないの?」というプレッシャーからも解放され(笑)、長年抱えていた悩みがなくなつて、今は落ち込めて仕事に取り組むことができています。地元に帰るのもいいものです。



三和物流サービス株式会社
中山勇治さん(仮名) 36歳/大学卒